



# 穂学

令和6年度 広州日本人学校  
学校だより No.4  
令和6年7月16日  
発行責任者 校長 大久 耕

## 温かな拍手・励まし、ありがとうございました

7月5日（金）、6日（土）の2日間にわたり、令和6年度の音楽発表会を開催いたしました。保護者の皆様、学校関係者の皆様には、ご多用中のところ参観いただき、温かな拍手や励ましの言葉をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

当日までの児童生徒の様子を見ておりましたが、決して順風満帆だったわけではありません。休み時間も教室で黙々と練習を頑張っている児童、校外学習の後も学校に戻り練習に励んだ生徒など、目標に向かってしっかりと進めている姿もありましたが、中には意見が合わずに、ぶつかり合う様子も見られました。それでも、当日のぎりぎりまで準備を進める中で、児童生徒は「一致団結 ～みんなの心を一つに響く歌声を～」に向かって、まとまっていくことができました。

終了後の子どもたちの感想に目を通しますと、学年に応じた目標を立て、達成に向けてどのように取り組んできたのか、そして当日の演奏を取組から考えてどのように感じたのかといった、過程を強く意識したものが多くあり、そのことが窺えました。

「音楽発表会」が、児童生徒にとって大きな成長の機会とすることが出来たのも、ご家庭の皆様の協力によるものと改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 授業実践研修 ～教職員の資質向上のために～



しばしばお子さんから「今日の授業に、たくさん先生が観に来た。」という話を聞くことはありませんでしょうか。

行事予定等でお知らせしているものではありませんが、校内ではしばしば教員同士が授業を参観し合い、お互いの授業の進め方や指導法について意見を交換し、授業力の向上を図る取組を行っています。

国内では同一校種の教員からの意見がほとんどですが、小学部と中学部がある本校では、それぞれ違う学部の教員から意見をもらうことで、新たな視点をもったり、授業の接続について理解を深めたりする機会となっています。

## ほーやん集会（7月11日）

朝の時間に、児童生徒会主催による第3回ほーやん集会が行われました。今回は、保健委員会から熱中症の予防と対策について話がありました。

小学1年生から中学3年生までが通う本校では、必要なことを全校児童生徒に的確に伝えるための工夫は、欠かすことのできないものです。

この日の集会では、寸劇にクイズを織り交ぜながら、楽しくかつ分かりやすく全校児童生徒が理解できる内容づくりを行っていました。



## 校外学習 ～広州の施設等あれこれ～



### ごみ処理場の見学（小学部4年生）

6月20日（木）に4年生がごみ処理場の見学に行きました。広州市の郊外にある処理場は、自然環境豊かな場所に建てられています。清潔に保たれた施設を見学し、ごみ処理後の排出する空気は市内よりもきれいだという説明を実感した子どもたちでした。

### 明治アイス工場（小学部3年生）

7月9日（火）に3年生が明治アイス工場へ見学に行きました。企業理念、厳しい衛生管理、アイスづくりの工夫とともに、中国への進出や商品開発など、様々な苦労についてもお話を伺うことが出来ました。



### 職場体験学習（中学部3年生）

6月26日（水）、27日（木）の2日間にわたり中学部3年生の職場体験が行われました。通常の見学とは違い、仕事体験として企画を行ったり、接客に当たったりしています。進路選択や職業観を培う貴重な体験となりました。



### ～ 学校長日記 ～

校外学習に同行し、日系企業を中心に様々な場所に伺っています。

常を感じるの、「子供たちが大事にされている」ということです。通常の業務時間に、数時間にわたり業務の説明や社内を案内いただいたり、事前事後に児童生徒からの質問に丁寧に答えくださったりと、毎回感謝の気持ちでいっぱいになります。

同時にどの企業の方からも共通して聞かれるのは「社会貢献」という言葉です。日本国内でも、国外でも変わらない日本企業の皆様のこの言葉こそが、児童生徒にとっての貴重な学びの機会となっていることを強く感じています。